事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	再生可	再生可能エネルギー機器設置費補助事業 事業開始年度 平成19年度								
担当課	市民生	活部 生活環境	· 意課		担当	物 物 :	井 祐太			
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】										
	政策	06	次代に引き継	ぐ豊かな自	自然と環境					
総合計画体系	施策 0		り1 次世代に継承する自然環境の保全							
	基本事	業 01	再生可能エネルギーの推進							
事業の目的	再生可	再生可能エネルギー利用機器の設置を推進することにより、再生可能エネルギーの普及を図る。								
事業の概要		地球温暖化防止対策の一環として、市民のクリーンエネルギー利用の支援のため、再生可能エネル ギー利用機器の設置者に補助金を交付する。								
■事業実施結果	実施(Do)]								
		年度	2年度		3年度		4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	3, 955		2, 983		4, 500			
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】								
	指標	指	単位	2年度	3年度	4年度	5年度			
	区分	110	** T 1		実績		計画	計画		
指標の推移	成果	住宅用太陽光発電 (累計)	主宅用太陽光発電システム設置件数 (累計)		919	957	1, 022	1, 087		
	評価 ○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず									
達成度の	国の固定価格が年々減少しているため。 説明									
評価と説明										
見直し余地	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性										
資源方向性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	森林経	営管理制度事業	Ě			事業開	始年度	令和元年度		
担当課	産業経	済部 農政課			担当者	小	森 大輔			
■事業の執行計画										
	政策	06	次代に引き継	ぐ豊かな自	然と環境					
総合計画体系	施策 01		次世代に継承する自然環境の保全							
		基本事業 02 森林の保全・育成とバイオマスの推進								
事業の目的		適切な経営や管理がされてない森林について、所有者の意向を調査し、林業経営の効率化及び森林管 理の適正化を図る。								
事業の概要		森林所有者に意向調査を行い、所有者が経営や管理を行うことが困難な場合は、経営管理権集積計画 を策定し、間伐等の森林整備を実施する。								
■事業実施結果【	実施(Do)]								
	年度			3年		年度	4年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初			
	総事業費 8,109				8, 113		10, 505			
■前年度の事業分		価 (Check) 】								
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	区分		NY 11.1.1	–	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	経営管理権集積面	ā積	ha	0	5. 81	6	6		
	評価	●達成、椆	₹ね達成した ○3	多少は達成し	た 〇達成	できず		·		
達成度の	森林所有者に対する意向調査の結果に基づき、経営管理権の集積を図っていく。									
評価と説明	説明									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【改	善(Ac	tion)]								
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	環境啓	発事業				事業開	始年度	平成19年度		
担当課	市民生	活部 生活環境	竟課		担当者	物	井 祐太			
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】										
総合計画体系	政策	06	次代に引き継	ぐ豊かな自	然と環境					
	施策	01	01 次世代に継承する自然環境の							
	基本事	業 99								
事業の目的	環境問	環境問題に関心をもってもらう。								
事業の概要		環境関連の諸問題について、イベント等でパネル展示・環境グッズやパンフレット等の配布・実験等 を行い啓発活動を進める。								
■事業実施結果	【実施(Do)]								
		年度	2年度		3年度		4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算					当初			
		総事業費	180		163		213			
■前年度の事業分		価 (Check) 】								
	指標			単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	区分	70	DK. 11 117	— 122	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	イベント、講座受 心を持った人の害	登講者で環境問題に関 合	%	88	89	90	90		
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
達成度の	環境グッズを作成し、各会議等で環境グッズとパンフレットの配布を実施し環境問題等について周知									
評価と説明	説明	した。								
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現料	犬どおり継続 O.	廃止・完了						
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(通	直常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	環境基本計画事業事業開始年度							成25年度		
担当課	市民生	活部 生活環境	· 		担当者	物	井 祐太			
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】										
	政策 06 次代に引き継ぐ豊				然と環境					
総合計画体系	施策 01 次世代に継え			なする自然環境の保全						
	基本事		総合事業							
事業の目的	さくらる。	さくら市環境基本計画に基づく適切な進行管理をおこない、さくら市が目指すべき環境像を実現させる。								
事業の概要		基づき環境関係 画の進行管理を	の施策推進をする。 おこなう。	。なお、環境	誇審議会、環境	基本計画策定委	員会等により	環境		
■事業実施結果	【実施(Do)]								
		年度	2年度		3年度		4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初			
	総事業費 109				103		155			
■前年度の事業分	析【評	価 (Check) 】								
	指標	te.	標名称	単位	2年度	3年度_	4年度	5年度		
	区分	181	际位 你	丰位	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	環境基本計画実績	報告書の公表		1	1	1	1		
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
達成度の	計画に基づき環境関係の施策推進。環境審議会、市民環境会議により環境基本計画の進行管理をおこ									
評価と説明	説明	なった。								
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現料	犬どおり継続 O.F	廃止・完了						
資源方向性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									